紅葉満喫

秋の文化財特別公開

2018年
11/24㊏・25㊐

神仏習合の宮寺・石清水八幡宮の門前町として平安時代から発展した八幡の町には、お寺・神社が今でも数多く残っています。
このたび八幡市内の7社寺（石清水八幡宮、飛行神社、神應寺、善法律寺、正法寺、相槌神社、単伝庵）でそれぞれ2日間限定の文化財特別公開、体験イベント、お茶席などを行います。
美しい紅葉とともに、普段は見られないもの、体験できないことをお楽しみください。

厄除け・必勝の神社

国宝 石清水八幡宮（いわしみずはちまんぐう）

本殿、幣殿及び舞殿、織田信長寄進「黄金の樋」他

平安時代初期（860年）に創建され、現在の社殿は織田信長の社殿修復、豊臣秀吉の廻廊再建、豊臣秀頼の社殿再建、徳川家光の社殿造営によるもの。都の裏鬼門を守護し、伊勢神宮に次ぐ国家第二の宗廟と称され、日本三大八幡宮の一つでもあります。平成28年に国宝に指定されました。

6:30～18:00 境内自由参拝、昇殿参拝有料
●京阪電車八幡市駅から男山ケーブルで約3分の男山山上駅下車、徒歩約5分、または表参道から徒歩約30分

昇殿参拝

11/24（土）・25（日）
①10:00～ ②11:00～ ③13:00～ ④14:00～
見どころいっぱいの社殿内部を神職さんがご案内!

織田信長、豊臣秀吉・秀頼、そして徳川家と受け継がれてきた社殿に上がっていただき、お祓い・参拝ののち神職さんの案内で貴重な八幡造（はちまんづくり）の本殿や文化財をご覧いただけます。

目貫きの猿

※2日間限定の文化財も特別公開されます。
●時間：約40分 ●初穂料：高校生以上1,000円、小・中学生500円
●おふだ・お守り授与所にて当日受付

巫女さん体験

11/24（土）・25（日） 14:40～18:15
国宝 石清水八幡宮で神社女子憧れの巫女さん体験ができる!

神社好きの女子が急増中の昨今、国宝の石清水八幡宮で巫女さん体験ができる貴重な時間を過ごせます。日常からはなれ、自分を見つめ直して心のデトックスしませんか？

●内容：手水・参拝の作法実習、巫女舞練習及び奉納、社殿拝観 ●体験時間：約3時間35分
●定員：各日先着20名（中学生以上）、要事前申込 ●初穂料：1人4,500円（記念品付）
●持ち物：襦袢、腰ひも、足袋
●申込方法：電話にてお申込みください。一般社団法人 八幡市観光協会 075-981-1141
●申込受付期間：2018年10月20日（土）～11月19日（月）

やわたの神社・お寺がグッ！と身近になる
2日間

100本近くの紅葉が圧巻

男山 善法律寺（ぜんぽうりつじ）

八幡大菩薩像、宝冠阿弥陀如来像 他

鎌倉時代に石清水八幡宮の検校・善法寺宮清の発願で建立され、宮清のひ孫の良子が、室町三代将軍足利義満を生んだことから、歴代将軍が参詣しています。また良子がもみじを寺に寄進したことから「もみじ寺」の愛称で親しまれています。

12:00～16:00 拝観料500円
●京阪電車八幡市駅から徒歩約20分

もみじ茶席

11/24（土）・25（日） 12:00～16:00

茶席券を購入された方限定で、八幡産のてん茶と善法律寺にゆかりのある亥の子餅（いのこもち）を、境内の「金剛庵」の座敷でお召し上がりいただけます。座敷から眺める池と紅葉の景色も見事で、橋本関雪筆の掛け軸「仙境図」も公開されます。

●茶席券（てん茶と亥の子餅）：500円 ※亥の子餅は期間限定の和菓子です。

オカリナ演奏 11/24（土）・25（日） 13:30頃～15:00頃

夜間ライトアップ 11/23（金・祝）・24（土） 〈八幡市商工会主催〉 17:00～20:00

徳川家ゆかりの寺

徳迎山（とっこうざん） 正法寺（しょうぼうじ）

木造阿弥陀如来坐像、本堂、書院、小方丈 他

およそ830年前の鎌倉時代に開かれた正法寺は、室町時代に後奈良天皇の勅願寺となり、その後、徳川家康公の側室であるお亀の方の菩提寺として発展しました。また、数多くの重要文化財を誇り、境内の紅葉が見事な彩りを添えます。

10:30～15:00 拝観料700円
●京阪電車八幡市駅から京阪バスで約5分の「走上り」下車、徒歩約3分

全世界の航空殉難者の御霊を祀る神社

飛行神社（ひこうじんじゃ）

零式戦闘機エンジン、F104戦闘機ジェットエンジン 他

世界で初めて飛行原理を発見した二宮忠八が、空の安全と航空業界の発展を願い創建した神社。カラス型飛行器、忠八ゆかりの資料や企業・団体からの寄贈品などが揃う資料館が併設されています。飛ばして奉納する珍しい「神飛行機おみくじ」も注目です!

9:00～16:30（資料館は9:00～16:00） 境内自由参拝、資料館入館料 大人300円 小学生～高校生200円
●京阪電車八幡市駅から徒歩約5分

二宮忠八の未公開「幡画」「幡詞」公開

11/24（土）・25日（日） 9:00～16:00 ●資料館入館料が必要です。
晩年幡山と号して飛行千歌を詠み、幡詞を作り、幡画を描くことが日課だったという二宮忠八。今回は、未公開の幡画・幡詞約20点を公開します。
忠八の生まれ故郷、愛媛県八幡浜市の物産展も同時開催（裏面参照）。

豊臣秀吉の衣冠束帯の像が安置

絲杉山（しすぎさん） 神應寺（じんのうじ）

行教律師坐像、豊臣秀吉坐像 他

石清水八幡宮を開いた行教により建立されたと伝わります。寺の紋は豊臣と徳川の家紋が二つ並ぶ全国的にも珍しいものです。また、秋には色鮮やかな紅葉が幻想的の風景を醸し出します。

10:00～15:00 拝観無料 ●京阪電車八幡市駅から徒歩約6分（山門より約180段の階段有り）

第15回 紅葉まつり 11/24（土）・25（日） 10:00～15:00

「開山行教律師座像（国・重要文化財）」、「豊臣秀吉公座像」、「矜羯羅童子像・制多迦童子像（八幡市指定文化財）」、「豊臣秀吉公 ご朱印」などの公開のほか、境内では模擬店が出店します。京都市内、木津川・宇治川・桂川の三川が一望できる書院でのお茶席もあります（500円）。駐車場では、賑やかな手づくり市も開催。

らくがき寺の別名を持つユニークな寺

単伝庵（たんでんあん）

臨済宗妙心寺派の寺院。境内にある大黒堂の白壁に願いを書き入れる「らくがき祈願」で知られます。大黒堂建立にあたって受けた援助に感謝して、大黒様に願い事がよく見えるようにと始められたユニークな祈願法。毎年大晦日に塗り替えられます。

9:00～15:00 ●京阪電車八幡市駅から徒歩約10分、または京阪バスで約3分の「旦所」下車、徒歩約1分

結びを叶え悪縁を斬る、刀剣ゆかりの神社

相槌神社（あいつちじんじゃ）

天下五剣のひとつ「童子切安綱（どうじきりやすつな）」の作者、大原五郎太夫安綱（おおはらごろうたゆうやすつな）と稲荷の神様が、境内に涌く山ノ井の水を用い、名刀「髭切（ひげきり）」と「膝丸（ひざまる）」を造ったと伝わる場所。近年は「刀剣女子」と呼ばれる女性たちの間でも聖地として密かな人気を呼んでいます。「良縁結叶」「悪縁斬祓」などの御神徳も。

9:30～12:00頃 ※通常月の開所日は1日と15日のみ ●京阪電車八幡市駅から徒歩約5分

2日間限定・古印判を加えた秋仕様のご朱印2種を授与

11/24（土）・25（日） 9:00～12:00
通常は開所日の1日と15日に1種類ずつ授与される相槌神社のご朱印が、2日間に限り秋の限定仕様で2種類授与されます。※実際に古文書に使われていた印を使用。